

くるま 車いす vs 天王寺七坂、斜め七番勝負?!

天王寺七坂は、大阪市天王寺区の上町台地西側(夕陽丘地区)にある7つの坂の総称。

調査日：2012年10月1日



真言坂
生國魂神社の神宮寺であった
法案寺をはじめとする生玉十坊
が、明治の廃仏毀釈まで神社
周辺で栄えていた。うち、神社の
北側には医王院・観音院・桜
本院・新藏院・遍照院・曼荼羅院
の六坊があった。すべて真言宗
であったので、この坂は真言坂と
よばれた。



車いすでも大丈夫そうだね

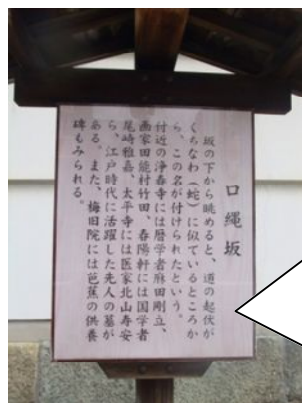


源聖寺坂
この坂は登り口に源聖寺がある
ので、その名をとっている。付近
一帯は、寺町として長い歴史を
持つ。齡延寺には、幕末に泊園
書院を興して活躍した藤沢東咳、
同南岳父子の墓があり、銀山寺に
は、近松門左衛門の「心中 宵申に
出てくるお千代、半兵衛の比翼塚
が建てられている。



右畳だけど車いすでも行けるかな、

あっ、でもこの先は階段だー(>_<)



口縄坂
坂の下から眺めると、道の起伏
がくちなわ(蛇)に似ていると
ころから、この名がつけられた
という、付近の浄春寺には
曆学者麻田剛立、画家田能村
竹田、春陽軒には国学者尾崎雅
嘉、太平寺には医家北山寿安ら、
江戸時代に活躍した先人の墓が
ある。また梅旧院には芭蕉の
供養碑もみられる。



車いすでも行けそうかな...

と思ったらこっから階段!(T_T)



愛染坂
その名とおり、坂の下り口にある
愛染堂 勝鬘院から名づけられた。
愛染さんの夏祭り(六月三十日)は
大阪夏祭りの先駆けとして知られ、
境内の多宝塔は市内最古(文禄三年)
の建築物で、重要文化財と指定され
ている。大江神社には「夕陽岡」の碑
があり、このあたりからの夕焼けは
今も美しい。



ここは行けそうだね。



清水坂
 新清水 清光院に登る坂道をいう。
 高台にある新清水寺境内からの眺望は格別で、さらに境内南側のがけから流れ出る玉出の滝は、大阪唯一の滝として知られている。また、この付近一帯は昔から名泉どころとして知られ、増井、逢坂、玉出、安居、土佐、金筆、亀井の清水は七名泉と呼ばれている。



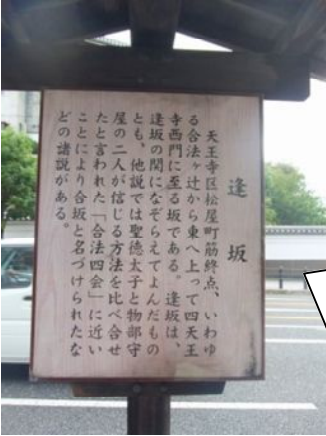
この坂は階段の横にスロープがあるよ。これなら行けるね(´▽`)



天神坂
 安居天神へ通ずる坂道なので、このように呼ばれている。この神社境内は大阪夏の陣に真田幸村が戦死したところで、本殿わきに「真田幸村戦死跡の碑」がある。また、同境内すぐ下には七名泉の一つ、安居の清水があり、「かんしづめの井」(桐静め)とも呼ばれている。



この石畳は凸凹してないね。 ことも行けそうだね。



逢坂
 天王寺区松屋町筋終点、いわゆる合法ヶ辻から東へ上って四天王寺西門に至る坂である。逢坂は、逢坂の関になぞられてよんだものとも、他説では聖徳太子と物部守屋の二人が信じる方法を比べ合わせたと言われた「合法四会」に近いことにより合坂と名づけられたなどの諸説がある。



ここって車も通る普通の道路だね。



坂は車いすの天敵？、いやいや、確かに手動車いすだと漕ぐひと、押す人はきついで、急勾配すぎず、フラットなら車いすでも行けるよね。天王寺七坂では、途中から階段の坂もあつたけど、それぞれの坂にも歴史があつておもしろいね。体力のある方は歴史探索の散歩コースにどうかな？(byみっちー)

←近くにある四天王寺さん

